



## 【事例 3】 富里市 : 金堀地区みどりの里保全会

### 1. 組織の概要

協定締結年度	協定面積(ha)	構成員	集落数
平成19年度	40.3ha (畑:40.3ha)	農業者24名 5団体	1

### 2. 地区の概要

本地域は、千葉県北部の富里市南部に位置しています。

富里市は、北総台地のほぼ中央に位置し、千葉県内有数の野菜の産地です。特にスイカについては、毎年スイカロードレースを開催するなど、全国的にも有名な産地となっています。

また、一帯の畑は、県営畑地帯総合整備事業により暗渠排水や排水調整池が整備されています。



富里市金堀地区の様子

### 3. 合意形成の経緯と組織の運営

この対策については、畑地帯総合整備事業の工区長が市役所からの情報提供によりこの事業のことであり、集落内へ働きかけて組織を立ち上げたそうです。

活動組織への参加を求めるため、婦人会などをお願いに行く必要はありましたが、特に反対意見もなく組織は立ち上がりました。



畑地帯の中央を通っている排水路

### 4. 特徴的な活動について



ゲート前に土砂が堆積すると排水ができなくなるため毎年の泥上げは必須

県営整備事業により整備された調整池は、畑地帯の中央を通っている排水路から流れ込むため、雨が降るとすぐに土砂が溜まり、放置すると調整池としての機能が損なわれてしまうので、保全会では毎年泥上げを行っています。大型のバックホウを使っての大掛かりな作業が必要になるため、農地・水・環境保全向上対策に取り組む以前は、関係者のみでの実施は困難な状況



排水調整池の泥上げ作業

でした。

農地・水・環境保全向上対策に取り組んだことにより、地域が一体となって施設の管理を実施しているよい事例です。

排水調整池の周囲には、毎年ひまわりなどが植えられ美しい景観を作っています。

今は若木ですが、桜も植樹されており、何年か経ったときには、花見でにぎわう場所になっていることを期待しています。

また、地区内の主要道路は、毎年開催されているスイカロードレースのコースに



なっています。皆で植えたケイトウの花の前で道路脇に植え作業を終えて一休み

られるサルビアの花は、ランナーの目を楽しませていることでしょう。



桜の植樹をする会長



## 5. 今後の活動について(体制整備構想など)

スイカロードレースはここまでくればコースも終盤です。



ひまわりの植栽作業

地区では高齢化や後継者不足による農業離れが進んでいますが、これは稲作と異なり、畑作は一年中休むことができないということも要因の一つとなっているようです。

共同活動の体制維持のためには、農業の新たな担い手の育成が必要になっています。

